

令和4年度 十和田市褒賞

公共の福利増進に功労があった方や、広く市民の模範となる方をたたえるものです。

安全で安心な住みよい社会の実現に貢献



たしま かずし
田島 一史さん
(64歳・東十五番町)

平成8年に十和田市交通安全協会の常任理事および財団法人青森県交通安全協会十和田地区交通安全協会青年部の初代部長に就任して以来、26年余りの長きにわたり、地域の交通安全活動の推進に大きく貢献した。この間、現在に至るまでの16年にわたり、両協会の会長を務め、会員の先頭に立ち、交通事故抑止活動を積極的に展開し、人身事故発生件数の減少につなげるなど、安全で安心な住みよい社会の実現に尽力した。

また、平成18年からは十和田商工会議所常議員、平成30年からは十和田市建設業協会会長を務めるなど、建築・土木の分野で地域の発展に寄与するとともに、本市の経済振興に大きく貢献した。

令和4年度

十和田市民功労賞

十和田市民または市に縁故の深い個人などで特に社会的な功労が認められた方に贈られます。

(地域防災)



こばやし たかのり
小林 閣則さん
(70歳・東二番町)

平成19年に防災士の資格を取得し、以来、防災・減災に関する啓発活動に取り組み、地域住民の意識向上に寄与するとともに、専門的な知識、知見により、十和田市避難所開設運営マニュアル作成および十和田市総合防災訓練に携わったほか、長年、市が実施する自主防災組織の研修会において講師を務めるなど、本市の防災力強化に大きく貢献した。

(交通安全)



やまうち さちこ
山内 幸子さん
(75歳・西十五番町)

昭和54年に十和田市交通安全母の会代議員に就任し、平成17年からは、同会の会長並びに青森県交通安全母の会連合会常任理事を務めるなど、43年余りの長きにわたり、母親の立場から交通安全運動を積極的に推進し、市内小学校周辺の横断歩道にストップマークの貼り付けを行うなど地域における交通安全活動に尽力し、本市の安全安心なまちづくりに大きく貢献した。

令和4年度

十和田市文化に関する表彰

✳文化功労賞 永年にわたり文化の向上発展に貢献し、その功労が特に顕著である方に贈られます。



すがわら うめ
菅原 ウメさん
(活動名 菅原 弘子)
(85歳・東十一番町)

「英会話愛好会」「スマイル・イングリッシュ」ほか複数の英会話サークルで指導者として50年余りの長きにわたり活躍。英会話を通じた市民の生涯教育に大きく貢献するとともに、外国人との国際交流・異文化交流にも熱心に取り組んできた。



おおやま ゆうこ
大山 祐子さん
(76歳・相坂字高見)

県内外の短歌大会に積極的に参加し、多くの上位入賞を果たしている。また、短歌結社「まひる野青森十和田会」副会長として会を牽引。市民文化祭においても中心的な役割を担い、37年余りの長きにわたり、短歌の普及奨励に大きく貢献した。

(社会福祉)



こばやし ちえ
小林 千恵さん
(77歳・東三番町)

平成8年に上十三地区保護司会保護司に委嘱されて以来、26年余りの長きにわたり、数多くの保護観察対象者の改善更生に尽力したほか、犯罪や非行のない地域社会づくりに大きく貢献した。また、昭和62年から35年余りの長きにわたり、十和田市民生委員・児童委員として地域住民の福祉増進のため積極的に活動し、本市の社会福祉に大きく貢献した。

(産業振興)



かわむら さだみ
故 川村 定美さん
(享年84歳・東十五番町)

昭和60年に有限会社川村機械を創業し、数多くの農業用機械の開発製造に携わった。特に、技術的に難しいとされていた、ニンニク植え付け作業用機械の開発に取り組み、原型を完成させたのち、他社に技術継承した結果、「乗用型にんにく植付機」として商品化され、植え付け作業の省力化・効率化による農家の負担軽減の礎を築くとともに、本市のニンニク生産量日本一にも大きく貢献した。